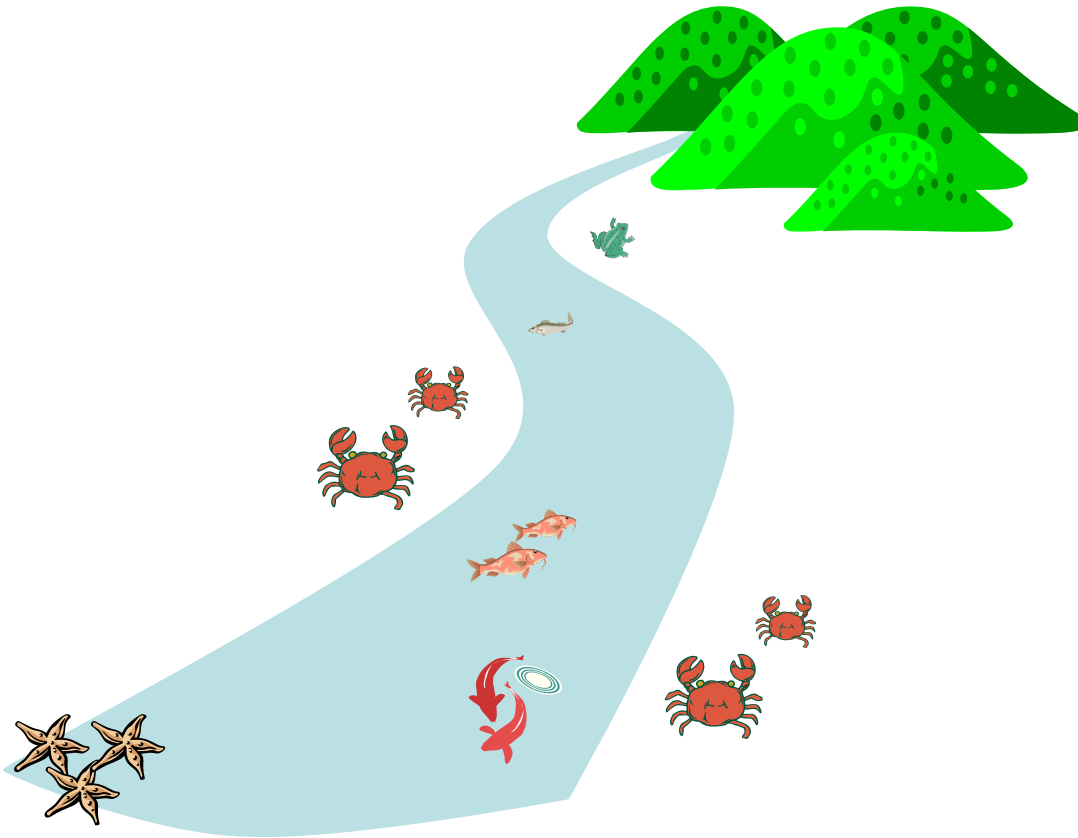


大手川には
いろいろな生き物が
くらしています



大手川河口近くにすむカニ・ヒトデ



- 【モクズガニ】十脚目イワガニ科イソガニ属
- 産まれてから4～5年は川で大きくなり、卵を産むために秋から冬、海に下ります。
 - ハサミの長い毛は、脱皮直後は白髪になります!?
 - 上海ガニの仲間で、ゆでて食べるとおいしいです。
 - 京都府レッドデータブックで、絶滅の危険がある種類に指定されています。



- 【ケフサイソガニ】十脚目イワガニ科イソガニ属
- 日本各地の内湾の川のそば、石の多い所でみられます。
 - オスのハサミにやわらかい毛が生えています。
 - クロダイ釣りのエサ等で使われます。



- 【キヒトデ】キヒトデ目キヒトデ科
- ヒトデまたはマヒトデともいいます。
 - 日本近海の浅い海や港の中で最も多く見られる種類です。
 - 体の色の変化が多く、黄色や紫色のものもあります。
 - 環境が悪くなると、体にガスをためて浮かび、遠くへ移動できます。

せつそくどうぶつもん 節足動物門

足に節がある動物は、節足動物門と言うグループです。カニの他に、エビなども同じグループです。

きょくひ どうぶつもん 棘皮動物門

体の表面に棘がある動物は、棘皮動物門と言うグループです。ヒトデの他に、ウニ、ナマコも同じグループです。

動物は体の形の似たもの同士でグループ分けができます！

大手川河口近くにすむ魚



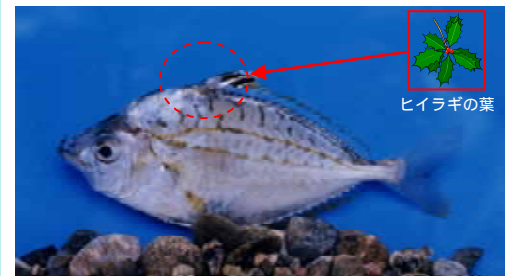
【ウグイ】コイ目コイ科ウグイ属

- ・日本各地の川の上流から下流に広くみられます。
- ・卵を産む時期、3本の赤いたてじまがみられます。
- ・川底のコケ、水中の虫などなんでも食べます。



【マハゼ】スズキ目ハゼ科

- ・日本各地の湾内や河口の砂泥上にみられます。
- ・寿命は1～2年です。
- ・大食いので何でも食べるので、釣りやすい魚です。
- ・汚い水に強く、都市の港でも見られます。



【ヒイラギ】スズキ目ヒイラギ科ヒイラギ属

- ・背中のトゲが、ヒイラギの葉に似ていることから、この名前がつけました。
- ・アゴを“ギギ...”とならすことから、宮津ではこれをギチまたはギギと呼ばれています。
- ・体はヌルヌルした粘液を持っています。



【ボラ】スズキ目ボラ科ボラ属

- ・日本各地の湾内や河口にみられます。
- ・大きさが名前がかわる出世魚で、関西ではハク、オボコ、スパシリ、イナ、ボラ、トドと大きくなります。
- ・川底のコケなどを食べます。



【アミメバギ】フグ目カワバギ科

- ・日本各地の藻場や岩場にみられます。
- ・大きくなっても6～7cm程度と小さいです。
- ・夜は海藻などを加えて流されないように寝ます。



【クサフグ】フグ目フグ科

- ・内蔵や皮などに毒を持ちます。
- ・砂に潜って、目だけ出している姿をみます。
- ・6月の新月と満月、波打ち際で集団で産卵します。

その他にも、コイ、メダカ、セスジボラ、ウキゴリ、ゴクラクハゼ、ヌマチチブ、アイナメ、ネズミゴチがいた。大手川にはたくさんの種類の魚がいます！